○ 「平成27年度医薬品副作用被害救済制度に関する認知度調査」結果概要 一般国民

1. 調査概要

- (1) 調査対象 一般国民(全国の20歳以上の各年代(20代、30代、40代、50代、60代以上)ごとの男女、計3,160人)
- (2) 調査方法 インターネット調査
- (3) 調査時期 平成27年12月22日(火)～平成28年1月8日(金)
- (4) 調査項目 制度の認知率、制度の内容理解度、制度の認知経路、集中広報の評価、制度の関心度 など

2. 調査結果の概要

制度の認知率

(1) 医薬品副作用被害救済制度の認知率について

・ 制度の認知率(知っている + 聞いたことがある)は	29.6%	(前年度 21.8%)
< 内訳 >		
「知っている」	8.0%	(5.4%)
「聞いたことがある」	21.6%	(16.4%)

制度の内容理解度

(2) 医薬品副作用被害救済制度の内容理解度(制度認知者ベース)について

・ 公的な制度である	68.0%	(前年度 54.1%)
・ 副作用による健康被害について救済給付を行う	64.8%	(50.5%)

制度の認知経路

(3) 制度の認知経路(制度認知者ベース・複数回答)について

・ テレビ放送	43.3%	(前年度 30.8%)
・ 新聞	28.7%	(21.1%)
・ インターネット(PMDA ホームページ)	26.6%	(13.1%)
・ 聞いた / 教えてもらった	15.4%	(19.8%)
・ 病院・診療所(クリニック)の院内ビジョン	15.3%	(15.9%)

集中広報の評価

(4) テレビCMの認知率と評価について

・ 認知率(見たことがある + 見たような気がする)	7.9%	(前年度 5.9%)
・ テレビCMの評価は、「印象(記憶)に残った」が61.5%、「興味や関心を持った」が68.0%、「役に立つ情報が得られた」が75.1%		

(5)新聞広告の認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある + 見たような気がする) 11.2% (前年度 11.6%)
- ・ 新聞広告の評価は、「印象(記憶)に残った」が 53.0%、「興味や関心を持った」が 63.7%、「役に立つ情報が得られた」が 70.4%

前年度は「新聞広告、ポスター、バナーをひとつでも見たことがあるか」の設問

(6) 駅貼ポスターの認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある + 見たような気がする) 11.1% (前年度 11.6%)
- ・ 駅貼ポスターの評価は、「印象(記憶)に残った」が 61.2%、「興味や関心を持った」が 66.7%、「役に立つ情報が得られた」が 71.3%

前年度は「新聞広告、ポスター、バナーをひとつでも見たことがあるか」の設問

(7) 薬局・院内ビジョンの認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある + 見たような気がする) 26.4% (前年度 -)
- ・ 薬局・院内ビジョンの評価は、「印象(記憶)に残った」が 61.3%、「興味や関心を持った」が 68.2%、「役に立つ情報が得られた」が 69.2%

(8) 特設サイトの認知率と評価について

- ・ 認知率(見たことがある + 見たような気がする) 7.5% (前年度 -)
- ・ 特設サイトの評価は、「印象(記憶)に残った」が 87.8%、「興味や関心を持った」が 87.0%、「役に立つ情報が得られた」が 86.1%

制度の関心度

(9) 制度の関心度について

- ・ 制度の関心度(関心が持てた + やや関心が持てた)は 74.3% (前年度 79.7%)